

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立高島小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終評価は7項目、学校関係者評価は全9項目で「A：十分達成できている」との達成度(評価)であった。「B：おおむね達成できている」項目については、さらなる児童への意識付けと指導の徹底が必要である。</li> <li>コロナ禍や自然災害時に備えて、学校全体でオンライン授業に積極的に取り組み実践することで、児童・教員ともにICT活用スキルが向上した。次年度は、オンライン授業で他校との交流を試みたい。</li> <li>地域の方の協力で多くの体験活動を実施することができた。「サービスマーケティング」の視点で本校の教育課程を捉え直し実践することで、「特色ある学校」「地域とともにある学校」に近づいている。今後も、高島ならではの特色ある学校づくりを推進していく。</li> </ul>
------------------	--

2 学校教育目標	やさしく、かしこく、たくましく
----------	-----------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①登校することが楽しみになる学校づくり</li> <li>②道徳性を磨き高島に親しみ愛する心を育む教育課程の編成</li> <li>③基礎的基本的学習内容の定着と活用力の育成</li> <li>④自らの健康の維持管理と体力向上</li> </ul>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師2/3人以上	・教師間でマイプランを共有するとともに、校内研修で取組んだり、学期ごとに内容の情報交換を行ったりする。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
	○活用力の育成	○朝のスキルタイム90%以上実施	・語彙を増やすことや音声言語に慣れるために、週一回以上、音読や対話活動を実施する。 ・5～6年は算数の活用問題を1学期間に2回以上実施する。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学期に1回、人権・同和教育の視点で道徳教育に取り組む。 ○毎月、「なかよしアンケート」を実施して肯定的な回答の児童を6/8人以上にする。	・人権・同和教育の参考資料を基にして、各学年で指導を行う。 ・「なかよしアンケート」の中で、自分や友達のおよや頑張っていること、できるようになったことを記述する欄を設ける。 ・保護者や地域の方々と連携した体験活動を実施する。							道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者 各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○月1回、学活の時間を活用して担任と児童の個人面談を行い、気になることや悩み等を聞く。	・児童から得た情報を基に、月1回の児童支援委員会で情報共有を行い、全職員で問題解決を図る。 ・週1回の職員連絡会で、児童の様子で気になることがあれば報告し、いじめの未然防止に努める。							(主)生徒指導主事 (副)各学年主任
	◎高島を親しみ、愛する児童の育成	◎年間4回以上、地域の人達と共に体験活動や地域と関連した行事に取り組む。	・体験活動や地域と連携した行事と教科等を関連させ、地域へ貢献できる機会を設定する。 ・地域のひと・こと・ものに触れさせることで、高島のよさを考えさせていく。							(主)教務主任 (副)各教科主任
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考えることができる児童5/8以上。 ○自分の身体に関心をもち、健康を維持していけるような知識を身に付けさせる。	・給食の時間などを活用して、献立内容に沿った栄養指導や食事マナーを全職員で指導する。 ・学期に1度の発育測定、学校三師による保健指導、保健だよりなどにより情報を発信する。							保健主事 栄養教諭 学校栄養職員 食育推進担当者
	○望ましい生活習慣の形成	○早寝・早起きを意識して実行できる児童を5/8人以上にする。 ○積極的に体を動かそうとしている児童を6/8人以上にする。	・「生活リズムチェック」を活用し、睡眠に関する意識調査を実施する。 ・週に1度は20分休みに、ジョギングや縄跳び等の運動をする時間を設け、全校で体力づくりに取り組む。 ・週に1度は全校レクの時間を設け、体を動かして遊ぶ楽しさを実感できるようにする。							保健主事 栄養教諭 学校栄養職員 食育推進担当者
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進	●勤務時間内に業務遂行できるようにする。	・各教育活動の目的を再確認し、カリキュラム編成を検討する。データを共有し、次年度以降に活用していく。							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○教育環境の効果的な利用	○すべての教育活動でのICT利活用教育の推進	○週に2回以上、タブレット、PC等のICT機器(電子黒板を含む)を利用する児童を6/8人以上にする。	・授業の中や朝のスキルタイムで週に2回以上はICT機器を活用できるようにし、児童がICT機器に親しみ、その良さを実感できるようにする。							情報教育主任

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--